



レインボーブリッジ（松）

理 念

患者中心の最善の医療の実施

勤労者に対する総合的な医療の実施

地域における救急・急性期・高度先進医療の実施

Contents

働く女性専門外来	2
糖尿病内分泌内科	3
消化器科	4
地域医療連携室より	4

専門外来
の紹介

働く女性専門外来

産婦人科 医師 ホシ ノ ヒロ ミ
星 野 寛 美



関東労災病院では、働く女性の方々に対して様々な心身の変調に配慮できる医療を行うために、2001年10月より女性医師による『働く女性専門外来』を開設しております。

働く女性の中には、女性特有の症状に対する恥ずかしさなどから相談できずに悩んでいたりと、男性医師への抵抗感から受診を先延ばしにして症状を悪化させてしまうケースが多いようです。



『働く女性専門外来』では、そういった女性患者様のお気持ちを配慮し、専門の女性医師が診察するシステムを導入することで、プライバシーの尊重など、受診しやすい環境をつくり、働く女性の職業生活への支援及び医療福祉の向上をめざしています。

診察は、毎週木曜日午後産婦人科外来（Cブロック）にて行っています。症状の内容によらず、働く女性の診察を受付けます。



＊特に対象としている疾患や診療科は限定いたしません。必要な場合には他科及び他院への紹介をいたします。

働く女性専門外来 受診のご案内

診療日時 毎週木曜日（受付時間 午後2時～4時30分）

初診の患者様は電話にてご予約ください。（女性専門外来1回目の患者様）

◆ 予約受付電話

044(435)5031 関東労災病院 地域医療連携室

（予約受付時間 8：30～17：00）

予約時に お名前、生年月日、電話番号 をお伺いします。

＊電子メール等での予約は行っておりません。

再診の患者様（女性専門外来2回目以降の患者様）は産婦人科外来にてご予約いただいております。

◆ 再診受付電話

044(411)3131 関東労災病院 産婦人科外来

（予約受付時間 15：00～16：00）



専門外来 の紹介

糖尿病内分泌内科

モク ボ アツ コ
糖尿病内分泌内科部長 空 保 敦 子



1. 診療科の特色

糖尿病・内分泌内科では、糖尿病、肥満、メタボリックシンドロームなどの代謝・栄養疾患、甲状腺・副腎疾患を中心とした内分泌疾患の診断、治療を行っています。

特に糖尿病では、日本糖尿病学会専門医と糖尿病療養指導士の資格をもつコ・メディカルスタッフ（看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師）を中心としたチーム医療を実践し、糖尿病教育入院や外来教室、インスリン自己注射や自己血糖測定の指導など、患者様への糖尿病教育や診療にあたっています。

また、当科での外来や入院診療によって状態が安定された後は、外来での経過観察を近隣の先生方にお願ひし、当科では年に数回食事療法の確認や合併症精査のために受診していただく、かかりつけ医の先生との2人主治医制により、緊密な地域医療連携のもと診療に当たっています。

また、患者様同士の情報交換や医療者も含めた親睦のために、糖尿病患者会「関東労災きづき会」を組織し、活動しております。

2. 診療内容

- (1)糖尿病教育入院は、7泊8日もしくは2泊3日の2つのコースで、クリニカルパスを使用した独自の教育プログラムにより効率的に行っています。食事療法、運動療法の実践や血糖管理とともに、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士らによる講義や療養指導、病態や合併症の精査を行っています。
- (2)個々の患者様に応じて、糖尿病合併急性疾患の治療、血糖管理やインスリン導入、糖尿病合併症の検査や治療を目的とした入院治療も随時行っています。
- (3)外来では、管理栄養士による栄養指導や看護師による足のケアなどの療養指導、入院が困難な患者様には、外来糖尿病教室や外来でのインスリン導入も行っております。
- (4)バセドウ病、橋本病をはじめとした甲状腺疾患や下垂体・副腎疾患などの内分泌疾患の診断、治療を行っております。

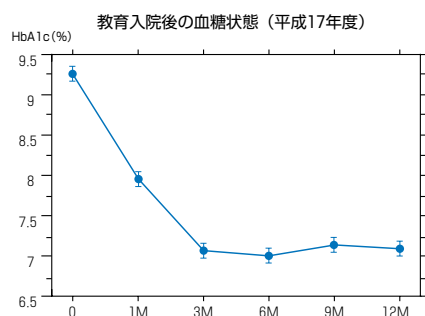
3. 専門分野

- (1)糖尿病腎症の早期から食事療法（減塩・蛋白制限食）、降圧療法などの積極的治療を行い、保存期から透析導入にいたるまで継続的に管理し、腎臓内科と連携して一貫した治療を行っております。
- (2)糖尿病合併妊娠および妊娠糖尿病にたいして、産婦人科と連携しながら専門的に管理しています。
- (3)インスリン治療では、積極的に強化インスリン療法を導入し、1型糖尿病を対象としてCSII療法も行っております。

4. 診療実績

当院で外来管理している糖尿病患者数は約800人、うち1型糖尿病は約60人、バセドウ病、橋本病をはじめとした甲状腺疾患の患者数は、約50人です。

平成18年度の入院実績は、糖尿病教育入院約160名、糖尿病一般入院（糖尿病合併症治療、血糖コントロール・インスリン導入も含む）が約150名、その他の入院が約20例です。



5. 診療スタッフ

(1) 空保敦子

<専門分野>

糖尿病一般、糖尿病腎症、妊娠糖尿病、糖尿病教育、1型糖尿病

<所属学会、学位・認定等>

日本内科学会専門医 日本糖尿病学会専門医・指導医 日本妊娠糖尿病学会評議員 日本病態栄養学会評議員 日本内分泌学会 日本腎臓学会 日本透析医学会 日本医師会認定産業医 医学博士

<出身大学>

浜松医科大学



消化器科・ 内視鏡センターのご案内



消化器科部長 オガサワラ マサヒロ
小川 正純

診療内容・特色・スタッフ

消化器科では食道、胃、腸などの管腔臓器の疾患と肝臓、胆嚢、膵臓の実質臓器の疾患を主に扱っております。診療にあたっているスタッフは佐藤謙、小川正純、梅田知幸、上砂敏之、草柳聡、安泰善、中川元希、金子麗奈、下間佑、石坂俊二の計10名です。医師の数にも恵まれ、患者さんにも十分な医療が行えているものと自負しております。

管腔臓器

管腔臓器では内視鏡治療に力を入れており、食道表在癌、早期胃癌、胃腺腫の内視鏡的粘膜下層剥離術や大腸ポリープの内視鏡的粘膜切除術、消化性潰瘍の内視鏡的止血術などを積極的に行っております。また進行胃癌、大腸癌の化学療法、ピロリ菌の除去（1次除菌失敗例では自費診療にはなりますが2次除菌まで）なども行っております。また当科は潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患症例が非常に多く潰瘍性大腸炎に対しては5-ASA、PSLなどの薬物療法に加え、白血球除去療法、顆粒球除去療法を導入しステロイド依存の予防に努めております。



実質臓器

実質臓器では肝臓に関しては最も多いウィルス性肝炎、肝硬変、肝癌を中心に診療しています。ウィルス性肝炎に対してはインターフェロンなどの抗ウィルス療法の導入をはかり病気の進行を抑える努力をしています。肝癌症例では肝動脈塞栓術、ラジオ波焼灼術、エタノール注入療法などを行っています。特にラジオ波焼灼術は今後力を入れていきたいと考えている治療です。また肝癌の正確な診断を行うためCT、MRIのみならず造影超音波を開始致しました。胆道系では閉塞性黄疸に対しては経皮的または内視鏡的ドレナージやステント留置術を行っています。膵臓では急性膵炎に対する集学的治療や進行膵癌に対する化学療法を行っています。

まとめ

以上当科は消化器疾患全体をほぼカバーすることが可能な診療体制をとっております。また当科は地域の先生方との病診連携を重視しており、急性期を過ぎ、安定した患者さんに関しては地域の開業の先生方にその後の診療をお願いしております。これからも地域支援病院の一翼を担っていきたいと思いますので宜しくお願い致します。



内視鏡センター 現有機種

内視鏡センター

オリンパス 電子内視鏡 EVIS240システム 3セット

第二内視鏡室

オリンパス 電子内視鏡 EVIS240システム 1セット

内視鏡センターは5月1日より新外来棟に移転しました。

地域医療 連携室より

～創立50周年・外来棟オープン・病院機能評価受審～ 関東労災病院の区切りの年

この度、19年5月1日より新外来棟がオープンしました。これは17年1月の病棟オープンに続く一大イベントでした。

おかげさまで、新たに導入した外来ブロック受付・外来表示システム・会計待ち表示システムも順調に稼動し、外来患者様もようやくこのシステムに慣れて来たように思えます。

そして、平成9年より進めてきた増改築もいよいよ今年度で大詰めを迎え、ハード面が完成し、6月8日には創立50周年を迎えました。関東労災病院にとって今年は新たな区切りの年となりそうです。

また、9月には病院機能評価 ver 5 受審を控えこれからはソフト面での改善および整備を病院全体で取り組んでいるところです。

今後とも地域の皆様、近隣の医療機関の先生方から信頼される病院になれるよう努力していく所存ですので、ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

TEL 044-435-5031 (直通) FAX 044-435-5030

ブリッジとは…(橋):医療機関との橋渡し、患者様と医療機関との橋渡しという意味。